

いもう 葦毛通信



カキラン

2025年8月25日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町三丁目1
TEL: 0532-56-6060

No. 174

1、2025年度モニタリング報告－3

1) D・E地点（防鹿ネット内）

防鹿ネット内では、ネザサやコシダを刈り取り、根を掘り上げて溜まった表土ごと除去しました。又、ミズゴケも除去しました。表土除去作業中にノカンゾウの球根がいくつも



D・E地点防鹿ネット内作業直後（2025年3月18日）



D・E地点防鹿ネット内作業3か月後（2025年6月18日）

掘り出されましたが、埋め直して保存しました。

ノカンゾウは一日花で、7月11日に初開花を確認し、8月16日が最後の開花になりました。毎日観察したわけではありませんが、開花期間中10回観察し、合計で25輪の開花を確認しました。防鹿ネットの中は7輪、外では18輪確認し、昨年多く開花したところからは1輪も開花しませんでした。ネット内での開花数はまだ少ない状況ですが、花を咲かせない個体が見られることから、来年の開花数は増えると思われます。ノカンゾウもミカワバイケイソウのように、数年間栄養分を球根に貯めてから開花するようです。



D地点防鹿ネットの外側に開花したノカンゾウ4輪（2025年8月5日）



D地点の防鹿ネットの外側に開花したノカンゾウ拡大（2025年8月5日）

また、ネット内ではコバノトンボソウが3株発芽しているのが確認できました。2023年には1株だったので若干増えたとも言えますが、依然として絶滅寸前の状態です。コバノトンボソウは植生回復作業によって埋土種子から復活した植物で、20株程度まで増えましたが、その後減少してしまいました。今にも消えそうになっている状態ですが、このような植物は個別に対応して、絶滅を回避させる方策を行っていきたいと考えています。

2) Q地点（冬水田んぼの再生）

Q地点の旧水田では一部を一年中水がある冬水田んぼ（ふゆみずたんぼ：葦毛通信 No. 124 参照）として再生しました。ミゾソバやヌマトラノオ、ハナビゼキショウ等の湿生植物が出現し良好な湿地として再生しました。しかし、下左写真の奥の土手がイノシシに壊されて水が抜けるようになっていました。そこで、2月の作業で土手の修復を行いました。修復後、2回続けてイノシシに壊されましたが、すぐに修復して現在は落ち着いた状態です。壊されたところにイノシシの食べ物は無いように見えますが、何を目的に掘っているのかは分かりません。

この旧水田は画面の奥が低くなっており、冬水田んぼとして再生しましたが、手前部分も地表面に水がわずかに見える良好な湿地になったところです。下右写真は作業4か月後の状態ですが、ミゾソバが優勢になり水面はほとんど見えなくなっています。



Q地点作業後（2025年2月28日）

Q地点作業後4か月（2025年6月18日）

葦毛湿原内には小さな水溜まりがいくつもあったそうですが、現在はほとんどが埋まってしまい水溜まりは見られなくなっていました。昨年の植生回復作業では葦毛湿原の中心部にも小さな水溜まりを再生しています。

次頁上写真は旧水田でネザサが優勢になっていた自然歩道沿いのところです。植生回復作業でネザサを根から除去して土手を造り、冬水田んぼとして水が溜まる小さな池を造りました。水路を整備して水を入れると、すぐに水が溜まり小さな池のようになりました（次頁上左写真）。リセットされて植物が全くない裸地状態です。

作業4か月後（次頁上右写真）では、土手はミゾソバが繁茂し、自然歩道沿いにはコバノカモメヅルが発芽しています。池の中はすぐに愛知県絶滅危惧ⅠB類のホトケドジョウが入りました。特定外来生物ウシガエル対策として籠ワナを設置しましたが、6月17日に体長97mmのウシガエルが入り駆除しました。この他には、モクズガニのオスやニホンイシガメ等の在来種の水生生物が入ったこともありましたが、写真撮影後に逃がしました。池の中には作業後、すぐに様々な生物が入り、周りでは多くの湿生植物が発芽しました。掘り上げた土は旧水田の土壌ですが、水田雑草を中心に相当量の湿生植物の埋土種子があったものと思われます。



Q地点作業直後（2025 年 3 月 28 日）



Q地点作業後4か月（2025 年 6 月 18 日）

2、葦毛湿原秋の観察会

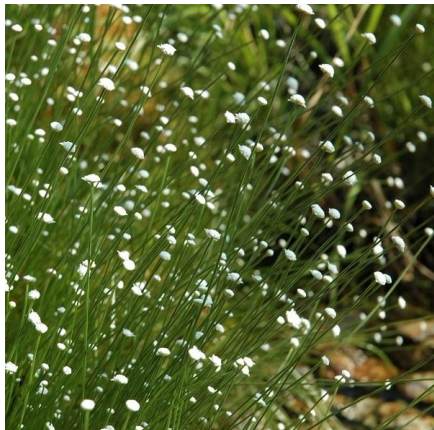
国指定天然記念物「葦毛湿原」の秋の観察会を行います。シラタマホシクサ、サワシロギク、ワレモコウ、イワショウブ、キセルアザミ、ミミカキグサ類等の夏から秋の花が見ごろになります。葦毛湿原では、毎年春と秋に観察会を行っています。ぜひ、ご覧ください。

- 1 開催日時 9月6日（土）9:30～11:30 （少雨決行）
- 2 集合場所 長尾池公園あずまや（トイレ東側）
- 3 参加申込 現地受付（事前申し込み不要）、
定員 60 名（当日現地申込先着順）
- 4 問い合わせ 豊橋市文化財センター
（☎0532-56-6060）

5 開花状況 7月末の時点で、葦毛湿原ではサギソウ、コオニユリ等の夏の花がほぼ咲き終わり、秋の花であるシラタマホシクサ、ミズギク、サワシロギク、ワレモコウが咲き始めています。ミミカキグサ類では、愛知県絶滅危惧ⅠB類のヒメミミカキグサが開花しています。昨年は500花以上が開花しましたが、今年も多くの花を咲かせています。あまりにも小さいため、見学に際しては双眼鏡が必需品です。



ヒメミミカキグサ（高さ約2cm）



シラタマホシクサ



ミズギク



イワショウブ

ミカヅキグサ